

《研究課題名》

Phage display 法を用いた骨髄由来抑制細胞を識別するアミノ酸配列の探索

《研究対象者》

「入院患者の重症度を反映する新たなバイオマーカーの探索」の研究にご協力いただいた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の保存されている血液を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

臨床研究「入院患者の重症度を反映する新たなバイオマーカーの探索」に参加頂いた方の保存している血液を用い、敗血症において悪い影響を及ぼしていると考えられている骨髄由来抑制細胞(MDSC)を抽出し、Phage display 法を用いて MDSC に接着するアミノ酸配列を同定するものです。

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2028年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 藤野和典

(2) 研究の意義、目的について

《意義》敗血症は微生物の感染により重篤な臓器障害を引き起こす、未だ死亡率の高い病態です。重篤化する原因の一つとして敗血症性免疫抑制と呼ばれる病態があり、重症患者の血液中において観察される骨髄由来抑制細胞(MDSC)が重要な役割を果たしていると考えられています。しかしこの細胞の同定には複雑な手技が必要であり、簡便に MDSC を同定し得るマーカーが必要とされています。

《目的》本研究では、重症患者の血液中にある MDSC を単離し、Phage display 法と呼ばれる方法にて、MDSC に結合し得るアミノ酸配列を調査し、MDSC の識別に有効なものを探索することを目的としています。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

冷凍保存されている血液をフローサイトメトリーにて MDSC を単離します。この MDSC 細胞を Phage display 法と呼ばれる方法にて MDSC に接着するアミノ酸配列を同定します。そしてこのアミノ酸配列にマーカーを付けて、実際に MDSC が同定できるか否かにつき調査を行い、最も効率よく MDSC を同定できる配列を探索します。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

血液および血液採取時の白血球分画の情報を利用します

オプトアウト

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 救急集中治療医学講座 藤野和典

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2929

メールアドレス：hqqqicu@bell.e.shiga-med.ac.jp